

まずは水泳に挑戦

そのまま自転車に飛び乗る (佐治村海洋センターで)



トライアスロン 初のクラブ結成

東部の10人、覚悟の挑戦

3・9^キを泳ぎ、続けて180^キを自転車で走り、最後にマラソンで42・195^キという史上最高の過酷なスポーツで「鉄人レース」ともいわれる「トライアスロン」。スポーツ好きなら一度は参加してみたいと、全国で人気が高まり、参加権も抽選で決められるほど。県東部のスポーツ愛好家がこのトライアスロンクラブを初めて結成、来年の各大会出場を目指し、月一回の合同練習に励んでいる。

このクラブのメンバーは、東部一円の陸上、自転車好きな人たちで、公務員、団体職員が多く、平均年齢は27歳。ほとんどの部員が、わかつり国体の役員という。

結成のきっかけは、クラブの中心になって行動している、トライアスロン経験者の佐治村教委勤務、船越修さん(34)が昨年12月にマラソン仲間へ「トライアスロンやってみたいか」と呼びかけた。当初二、三人が集まり練習を続けたが、さる7月24日の皆生トライアスロン後、友人からの口コミもあり、現在は女性2人を含む10人が「トライアスリート」を目指し、練習に参加している。

スポーツ万能—それだけではトライアスロンに挑戦できない。精神力と忍耐力を必要とし、勝つためだけに、自分自身に挑むスポーツで、参加した人の声を聞くと「もう二度と、あんなえらいことは」と口にするほど。

練習会場は主に同村加茂のB・G佐治海洋センターで、同センターの屋内25メートルプールを1^キ泳ぎ、自転車で行く村内往復の40^キを走り、続けて10^キのマラソンコースだが、それでも正式レースの4分の1の距離にしかならない。プールだけでなく、方向感覚や水温に慣れるため、海で泳ぐこともしばしば。自転車でも鳥取市内から蒲生峠までの往復、鹿野町河内の佐谷峠までの往復があり、その後必ずマラソンで走るといふハードな練習だ。ある部員は「気持ちいいですよ。レースじゃないから、マイペースで一緒に走るし」とニコリ。

さる21日の練習会に、初参加という土橋栄里さん(23)は「長い間、陸上をやっていたが、一生に一度の思い出として、過酷なスポーツに挑戦したい」と来年度の皆生トライアスロン出場を目指し頑張っている。マラソンは得意だが泳ぎは苦手、トライアスロンは今年が初めてという下田智明さん(27)は「今年やっと泳げるようになった。完走したいという、ただそれだけで参加した。途中、何度かやめようかと思ったほど。ただゴールが目に入り、テープを切った時は最高の満足感でした」と完走の喜びを話す。

始めてから4年になるベテランの船越さんは「皆と一緒に楽しめるスポーツとしてやっていき、こういうスポーツがあるんだというスポーツがあるんだという

トライアスロン 一緒にやろうよ

初心者の入会 大歓迎

「ラング・ラウフ」

ことしこそトライアスロンに挑戦しようと思ってい
る人はいませんか。しかし、
どういう練習をどこでどの
ように、どの程度すればい
かなど、わからないことが多
いはず。そういう人のため
に「Lang Lauf(ラング・ラウフ)」というトラ
イアスロンチームを紹介し

ます。
このチームは鳥取市や八
頭郡など、県東部の愛好者
九人の集まり。医師、自営
業、サラリーマン、公務員な
ど職業はまちまち。メンバ
ーの年齢は二十一四十歳代
までと幅広い。
結成されたのは昨年だが、
きっちりとした規約な

どなく事務局もない、いた
ってざつぐばらんなチー
ム。「みんなが会長、みんな
が事務局、選手」がモットー
で、参加も脱会も自由。と
にかく、やろうと思った時
に二人でも三人でも集まっ
て練習、情報交換ができれば
ーというのが結成の動
機。

チーム名のラング・ラウ
フはドイツ語で、英語では
「Long Load(ロング・ロ
ード)」。長い道のり



スタート前の「ラング・
ラウフ」のメンバー(昨
年7月、皆生トライアス
ロン大会)

というような意味で、トラ
イアスロンを連想させ、さ
らに人生を思わせる響きも
あるところから名付けられ
た。

同チームは同好の士を歓
迎しているが、大きな組織
にして役員を置くことは考
えていない。もちろん会費
などなく、費用はすべて自
己負担。「始めてみたい人
があれば一緒にやってみま
しょう。先輩として情報提
供をしたり相談に応じたり
、できる範囲内のことを
します」とメンバーの一人、
佐治村加茂の村教委主事、
船越修さん(三)は話してい
る。問い合わせは鳥取市二
階町一丁目、本城サイクル
ワークス(電0857-22
13868)へ。

4. クラブ紹介

Team Lang Lauf

(チーム ラングラーフ)

10年前、皆生の浜でスタートした4人のチームが相変わらず今も4人で活動が続けています。おそらく今後もこのまま、のんびりとやっていくでしょう。

チームとしての規制は全くなく、好きな時に都合のつく者が集まって好きなようにトレーニングをしたり、大会に参加したり、飲んだり。一時的に数名の増員があったものの結局は元の4人に。年齢も職業も性格もバラバラの大人が、トライアスロンという格好の遊びを見つけ楽しんでいます

(メンバー紹介その1)

ハワイのアイアンマンを始めとして、国内のほとんどのレースに参加しつくしている。レース情報ならおまかせ。

(その2)

外科医。スポーツドクターでもあり、身体のメンテナンスやアクシデントには最高に頼りになります。

(その3)

バイクのスペシャリスト。鈴鹿ロードレースで2位入賞の実力を持つ。ウルトラマラソンにも果敢に挑戦。

(その4)

実力はないが皆生13回出場だけが自慢。クロスカン트리ースキーのコーチ。

出入り自由。会費なし。飲み会月1(目標)の我がチームと一緒に遊んでみたい方は気軽にどうぞ。

●連絡先 Team Lang Lauf
下田智明 ☎0858(88)0428

